利用者を尊重した生活指導員としての姿　～上林直士生活指導員～

【職員紹介】
上林直士　生活指導員

所属：救護施設　松山荘
採用：平成29年度採用
仕事内容：利用者の生活支援

【入社のきっかけ】
Q　福祉の仕事に就くにあたってのきっかけはなんでしたか？
A　もともとは別の職業を目指して専門学校に通っていましたが、就職活動の時に行った交換授業を通して、介護の楽しさや福祉の楽しさを知って、岩手県社会福祉事業団に入ることを決めました。

【仕事について】
Q　どういう人が福祉の仕事に向いていると思いますか？
A　やる気の溢れる人がこの仕事に向いていると思います。また、岩手県社会福祉事業団では、福祉に関わる資格を働きながら取得できるので、資格の有無や専門性よりも、仕事に対しての思いが重要だと感じます。
Q　一番大変だと思うことはなんですか？
A　利用者の方の希望にそえない時に、大変だと感じます。希望にそえない理由をお伝えしても納得してくれる利用者の方は少なく、不快な思いをさせてしまうこともあるので、難しさを感じます。
Q　救護施設で利用者の方と接するにあたって心掛けていることはなんですか？
A　自分より人生の先輩である利用者の方と接しているので、言葉遣いに気を付けています。利用者の方とふれ合って慣れていくうちに、敬語ではなくなることもあるので、相手を尊重することを忘れないようにしています。

【就活アドバイス】
Q　就活のときに意識しておくこと、やっておくべきことはなんですか？
A　笑顔には気を付けていました。初めは緊張して表情が硬くなりがちですが、できる限り笑顔でいることが大切だと思います。また、伝えたいことは素直に伝えることも大切なことだと思います。

インタビュー＆記事作成：令和４年度インターンシップ　盛岡大学　文学部　日本文学科　小山田凜